

# 大分大学経済学部総合経済学科

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 別添資料 目次

資料 1	経済財政運営と改革の基本方針 2021 概要	2
資料 2	大分県「安心・活力・発展プラン 2015（2020 改訂版）」 （概要版）	6
資料 3	大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」第 2 次基 本計画概要版	7
資料 4	大分大学「経済学部 総合経済学科」（仮称）改組に関する ニーズ調査 結果報告書【高校生対象調査】	10
資料 5	経済学部改組の概要	27
資料 6	出身高校所在地別志願者数	29
資料 7	都道府県別人口減少率 リクルート進学総研マーケット レポート 2022	30
資料 8	地元残留率の推移 リクルート進学総研マーケットリポ ート 2022	31
資料 9	大分大学「経済学部 総合経済学科」（仮称）改組に関する ニーズ調査 結果報告書【企業対象調査】	32
資料 10	リクルートワークス研究所（2023）	49

# 経済財政運営と改革の基本方針2021 ～日本の未来を拓く4つの原動力～ (令和3年6月18日閣議決定)

## 日本を取り巻く環境変化

- **世界経済の変化**：単なる景気回復に留まらず、経済構造や競争環境に大きな影響を与える変化がダイナミックに発生
  - ◆ カーボンニュートラル、◆ デジタル化、◆ 国際的な取引関係、国際秩序の新たな動き
- **国内の未来に向けた変化**：これまで進められなかった課題を一気に進めるチャンス
  - ◆ 柔軟な働き方やビジネスモデルの変化、◆ 環境問題への意識の高まり、◆ 東京一極集中変化の兆し

内外の変化を捉え、構造改革を戦略的に進め、ポストコロナの持続的な成長基盤を作る

### 感染症の克服と経済の好循環

- **感染症に対し強靱で安心できる経済社会の構築**
  - ◆ 感染症有事に備えた取組（医療提供体制、ワクチン等）
  - ◆ 効果的な感染防止策の継続・徹底
- **経済の好循環の加速・拡大**
  - ◆ 事業の継続と雇用の確保、生活の下支えに万全
  - ◆ 自律的な経済成長に向けて、躊躇なく機動的なマクロ経済政策運営

### 防災・減災、国土強靱化 東日本大震災等からの復興

### 成長を生み出す4つの原動力の推進

- **グリーン社会の実現**
  - ◆ グリーン成長戦略による民間投資・イノベーションの喚起
  - ◆ 脱炭素化に向けたエネルギー・資源政策
  - ◆ 成長に資するカーボンプライシングの活用
- **官民挙げたデジタル化の加速**
  - ◆ デジタル・ガバメントの確立
  - ◆ 民間部門におけるDXの加速
  - ◆ デジタル人材の育成、デジタルデバイドの解消、サイバーセキュリティ対策
- **日本全体を元気にする活力ある地方創り**
  - ◆ 地方への新たな人の流れ、多核連携、分散型国づくり
  - ◆ 活力ある中堅・中小企業・小規模事業者、賃上げ
  - ◆ 観光・インバウンド、農林水産業、スポーツ・文化芸術
- **少子化の克服、子供を産み育てやすい社会の実現**
  - ◆ 結婚・出産の希望を叶え子育てしやすい社会の実現
  - ◆ 未来を担う子供の安心の確保のための環境づくり・児童虐待対策

### 4つの原動力を支える基盤づくり

質の高い教育、イノベーション、女性、若者、セーフティネット、孤独・孤立対策、働き方改革、リカレント教育、経済安全保障、経済連携、対日直接投資、外国人材、外交・安全保障、安全で安心な暮らし

### 経済・財政一体改革

- **改革の進捗等と感染症で顕在化した課題**
  - **個別分野ごとの改革**
    - 全世代型社会保障改革、国と地方の役割分担、文教・科学技術、社会資本整備、税制改革
  - **更なる推進のための枠組**
    - ◆ 「経済あつての財政」の下、デフレ脱却・経済再生に全力
    - ◆ 財政健全化目標（2025年度PB黒字化等）の堅持
- ※本年度内に、感染症の経済財政への影響の検証を行い、目標年度を再確認
- ◆ 2022～24年度の3年間、これまでと同様の歳出改革努力（歳出の目安）を継続

# 経済財政運営と改革の基本方針2021 4つの原動力 I

## 1. グリーン社会の実現

2050年カーボンニュートラル、2030年度のGHG削減目標の実現に向け、①脱炭素を軸として成長に資する政策を推進、②再生可能エネルギーの主力電源化を徹底、③公的部門の先導により必要な財源を確保しながら脱炭素実現を徹底

### ● グリーン成長戦略による民間投資・イノベーションの喚起

グリーンイノベーション基金等による脱炭素化投資支援、グリーン国際金融センターの実現

### ● 脱炭素化に向けたエネルギー・資源政策

3E+Sの考え方を大前提に、再生可能エネルギーの主力電源化を徹底し、再生可能エネルギーに最優先の原則で取り組み、国民負担の抑制と地域との共生を図りながら最大限の導入を促す

### ● 成長に資するカーボンプライシングの活用

産業の競争力強化やイノベーション、投資促進につながるよう、成長戦略に資するものに躊躇なく取り組む

## 2. 官民挙げたデジタル化の加速

### ● デジタル・ガバメントの確立

デジタル庁の設立、マイナンバーカードの普及・利活用拡大、行政データ提供のワンストップ化、データ・プラットフォームの整備、ベース・レジストリの早期構築、行政手続のオンライン化

### ● 民間部門におけるDXの加速

5Gの整備加速、ポスト5G・Beyond 5Gの研究・開発、携帯電話市場の競争環境整備、データセンター等の拠点整備、企業のデジタル投資への支援、IT導入サポートの拡充、AI・IoT・ビッグデータの活用

### ● デジタル人材の育成、デジタルデバイドの解消、サイバーセキュリティ対策

教育プログラムの充実（経済界・教育機関等と協力）、デジタル人材プラットフォームの構築、デジタル活用に不安のある高齢者等への支援の充実、サイバーセキュリティ対策の強化（次期サイバーセキュリティ戦略の策定、技術開発、人材育成、産学官連携拠点の形成）

## 経済財政運営と改革の基本方針2021 4つの原動力Ⅱ

### 3. 日本全体を元気にする活力ある地方創り～新たな地方創生の展開と分散型国づくり～

- **地方への新たな人の流れの促進**  
都市部人材の地方移住・定着促進、サテライトオフィスの整備等、ふるさと納税等地域の取組後押し
- **活力ある中堅・中小企業・小規模事業者の創出**  
生産性向上に取り組む企業への支援、規模拡大支援、地域コミュニティの持続的発展、中小企業への周知の強化、下請取引の適正化
- **賃上げを通じた経済の底上げ**  
賃上げしやすい環境整備に一層取り組む、最低賃金についてより早期に全国加重平均1000円を目指す
- **観光・インバウンドの再生**  
地域観光事業支援、収益性・生産性の向上、安心・安全な旅行環境整備
- **輸出を始めとした農林水産業の成長産業化**  
マーケットイン・マーケットメイクの輸出戦略、みどりの食料システム戦略の推進、生産基盤の確保・強化
- **スポーツ・文化芸術の振興**  
全ての国民が気軽にスポーツできる環境の整備、文化資源の持続的な活用促進
- **スマートシティを軸にした多核連携の加速**  
2025年までに多様で持続可能なスマートシティを100地域構築
- **分散型国づくりと個性を活かした地域づくり**

### 4. 少子化の克服、子供を産み育てやすい社会の実現

- **結婚・出産の希望を叶え、子育てしやすい社会の実現**  
男性の育休取得促進、結婚支援、子育て支援、包括的な政策パッケージを年内策定
- **未来を担う子供の安心の確保のための環境づくり・児童虐待対策**  
困難を抱える子供への支援等が抜け落ちることのないような体制の構築（行政組織の創設）

## 経済財政運営と改革の基本方針2021 4つの原動力を支える基盤づくり

- **デジタル時代の質の高い教育の実現、イノベーションの促進**  
教育のハード・ソフト・人材の一体改革推進、大学ファンドの10兆円規模への拡充の目途を立てる
- **女性の活躍**  
L字型カーブ解消に向けた取組、理工系分野における女性の活躍支援
- **若者の活躍**  
多様な働き方の実現、リカレント等の強化、博士課程学生の処遇向上、若手研究者の起業・兼業の促進
- **セーフティネット強化、孤独・孤立対策等**  
第2のセーフティネットの見直し、孤独・孤立対策、共助・共生社会づくり、就職氷河期世代支援
- **多様な働き方の実現に向けた働き方改革の実践、リカレント教育の充実**  
フェーズIIの働き方改革、コーポレートガバナンス改革、リカレント教育等人材教育の抜本強化
- **経済安全保障の確保等**  
自律性の確保・優位性の獲得、重要技術の特定・保全・育成、基幹的な産業の強靱化、体制整備・強化
- **戦略的な経済連携の強化**  
グリーン・デジタル分野等でのルール作り、SDGsの取組、TPP等経済連携の拡充・強化
- **成長力強化に向けた対日直接投資の推進、外国人材の受入れ・共生**  
新たな倍増目標達成に向けた対日投資促進、国際金融センターの実現、高度外国人材の受入れ・活躍推進等
- **外交・安全保障の強化**
- **安全で安心な暮らしの実現**

# 安心・活力・発展プラン2015

ともに築こう大分の未来～2020改訂版～

## 皆さんとともに築く「安心・活力・発展」



今般、大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」を改訂しました。この計画は、当初、平成27年に策定しましたが、国内外の諸情勢が目まぐるしく変化する中、10年間としている計画期間の折り返しにあたり、時代の潮流を的確に捉え、大分県の未来を切り拓いていくため、抜本的な見直しを行いました。

私は、「県民中心の県政」を旨としており、今回の計画づくりに際しても、各分野の第一線で活躍される59名の方々からなる中間見直し委員会を設け、延べ18回にわたり熱心な議論をいただきました。また、パブリックコメント等でも多くのご意見・ご提言をいただくなど、県民の皆様からの多様な意見を幅広く取り入れ、県民の求めるもの、幸せの実現のために、最良のものに仕上げたつもりです。

今回の改訂版では、「大分県版地方創生の加速前進」「先端技術への挑戦」「強靱な県土づくり」を柱に、関係施策を着実に進めていくこととしています。今、最大の課題である少子高齢化・人口減少に何とか歯止めをかけるため、市町村等とも手を携えて、あらゆる対策を講じながら、「安心・活力・発展」の大分県づくりを目指します。また、思いもかけなかった新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、社会・経済に大きな変化をもたらしつつあります。これにも柔軟に対応していかなければなりません。

県民の皆様には、この計画をご自分のものとして、目標の実現に向け、ともに汗を流していただくようお願いいたします。「夢と希望あふれる大分県」を一緒に築いていきましょう。

令和2年(2020年)6月

大分県知事 **広瀬 隆貞**

### 計画の性格・役割

この計画は、県行財政運営の長期的、総合的な指針を示したものであり、県民と行政が目指すべき目標を共有し、その実現に向けてともに努力する内容を明らかにするものです。

### 計画の期間

計画の期間は、平成27年度(2015年度)を初年度とし、令和6年度(2024年度)までの10年間とします。

### 計画の進行管理

毎年、基本計画の施策ごとに目標達成度などを測定する行政評価を行うとともに、県民の参画によるフォローアップの委員会を設けて、計画の進行管理を行います。

## 「安心・活力・発展プラン2015」の構成

### 【基本目標】

県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県

- 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県
- いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県
- 人を育み基盤を整え発展する大分県

◇県民が主役 ◇県民の多様な価値観の尊重 ◇県民の発想と活動の支援

### 【分野別政策 21政策 60施策 99指標】

- 安心**
- 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ  
温かい社会づくりの推進  
～子育て満足度日本一の実現～
  - 健康長寿・生涯現役社会の構築  
～健康寿命日本一の実現～
  - 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと  
障がい者雇用率日本一の実現
  - 恵まれた環境の未来への継承  
～おおいたうつくし作戦の推進～
  - 安全・安心を実感できる暮らしの確立
  - 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進
  - 多様な主体による地域社会の再構築
  - 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実
  - 移住・定住の促進

[9政策 27施策 46指標]

- 活力**
- 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現
  - 活力と変革を創出する産業の振興
  - 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興
  - 海外戦略の推進
  - 大分県ブランド力の向上
  - いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり
  - 女性が輝く社会づくりの推進
  - 活力みなぎる地域づくりの推進

[8政策 17施策 29指標]

- 発展**
- 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
  - 芸術文化による創造県おおいたの推進
  - スポーツの振興
  - 「まち・ひと・しごと」を支える  
交通ネットワークの充実

[4政策 16施策 24指標]

### 時代の要請

#### ○大分県版地方創生の加速前進

- ・少子高齢化・人口減少に正面から向き合い、減少カーブを緩やかにし、歯止めをかけ、地域の持続的な発展を目指す

#### ○先端技術への挑戦

- ・第4次産業革命がもたらす先端技術の波に乗り、地域が抱える様々な課題の解決や新たな産業の創出を図る

#### ○強靱な県土づくり

- ・近年、頻発化する大規模な自然災害を踏まえた抜本的な治山・治水対策を実施するとともに、地震・津波対策を推進

### 〈重要な指標〉

- ・合計特殊出生率
- ・出生数
- ・人口の社会増減



# おおいた 創造ビジョン2024 第2次基本計画

概要版

笑顔が輝き  
夢と魅力あふれる  
未来創造都市

## 大分市



# 基本構想

この基本構想は、これから本市がめざすまちの姿（都市像）と、それを実現するために必要な対策（基本的な政策）を定めるものです。

## 期間

2016年度～2024年度  
(平成28) (令和6)

## めざすまちの姿（都市像）

# 笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市

## 未来へのキーワード

—未来の大分市がどのようなまちになるか—それは、わたしたち大分市民一人ひとりの、自分のまちへの思いの結晶であり、同時に、今を生きるわたしたちの思いを次の世代に引き継ぎながら、将来の夢の実現に向けてともに考え行動し続けるなかで見えてくるものです。

理想とする未来の大分市に思いを馳せ、個性のある、活力に満ちたまちを思い描くとき、わたしたち大分市民が共有するまちのイメージとして「未来へのキーワード」が浮かんできます。

### 「はぐくむ」

市民一人ひとりの夢が  
実現できるまち



### 「つくる」

個性と魅力あふれる  
創造性豊かなまち



### 「つながる」

安全・安心な暮らしを  
実感できるまち



### 「ひろがる」

世界に広がる  
交流拠点となるまち



# 基本的な政策

めざすまちの姿（都市像）の実現を目指し、6つの「基本的な政策」を掲げ、それに沿った各種施策を展開することとします。

## 1 健やかでいきいきと暮らせる あたたかさあふれるまちづくり (市民福祉の向上)

市民一人ひとりが、人権を尊重し、互いに認め合い、だれもが住み慣れた地域で生きがいを持って、健やかでいきいきと安心して暮らしていける地域社会をつくりまします。

また、安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、社会全体で子どもの健やかな成長を支えるまちづくりを進めます。

## 2 豊かな心とたくましく 生きる力をはぐくむまちづくり (教育・文化の振興)

未来を担う子どもたちの豊かな人間性や社会性をはぐくむとともに、個性を尊重し、創造性を伸ばすことによって、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、変化の激しい社会をたくましく生きる力をはぐくみます。

また、生涯にわたって主体的に学び、文化・芸術やスポーツに親しむなど、だれもが潤いや生きる喜びを実感でき、ふるさとに誇りの持てるまちづくりを進めます。

## 3 安全・安心を 身近に実感できるまちづくり (防災安全の確保)

地震や津波、台風などの自然災害はもとより、テロや武力攻撃事態、さらには交通事故や犯罪など、日常生活を脅かすあらゆる危機事象を想定し、市民、地域、行政及び関係機関がそれぞれの役割分担(自助・共助・公助)のもとに連携・協働して、被害を未然に防止し、または最小限に抑えることができるよう対策を着実に推進し、安全・安心を身近に実感できるまちづくりを進めます。

## 4 にぎわいと活力あふれる 豊かなまちづくり (産業の振興)

経済を活性化し、企業の経営基盤の強化、農林水産物や工業製品をはじめとする製品の供給体制の充実など、地域の発展を支える各種産業の機能強化を図ります。

また、関係機関との連携を強化し、住む人や訪れる人々たちにとっての新たな魅力を創出することでにぎわいと活力に満ちた豊かなまちづくりを進めます。

## 5 将来にわたって持続可能な 魅力あふれるまちづくり (都市基盤の形成)

潤いや美しさ、豊かさなどで満たされるバランスのとれた都市の創造を目指して、各地域の現況や特性を生かした生活サービス機能の充実と集約により、コンパクトで暮らしやすいまちづくりを進めます。

また、日常生活での快適性・利便性の向上を図り、将来にわたって住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な魅力あるまちづくりを進めます。

## 6 自然と共生する 潤い豊かなまちづくり (環境の保全)

清潔で安全に暮らせる快適な生活環境を構築するため、市民、事業者、行政が連携して、環境に優しい循環型社会を形成するとともに、地球的規模の環境問題に取り組みまします。

また、豊かな自然を守りながら、魅力あふれる環境を次世代に引き継ぐため、生物や自然に対する理解を深め、人と自然が共生する潤い豊かな都市を目指します。

---

---

大分大学  
「経済学部 総合経済学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和5年7月  
株式会社 進研アド

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2024年4月開設予定の大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称)新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校3年生
調査エリア		山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	5,502人(48校)
	有効回収数 (回収校数)	4,024人(47校) 有効回収率:73.1%
調査時期		2023年5月15日(月)～2023年5月31日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校種別</li><li>・高校所在地</li><li>・所属クラス</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・興味のある学問系統</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」への入学意向</li></ul>

## 高校生対象 調査結果まとめ



# 高校生対象 調査結果まとめ

## 回答者の属性

※本調査は、大分大学「経済学部 総合経済学科」に対する需要を確認するための調査として設計。大分大学の主な学生募集エリアである山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県に所在する高校の高校3年生に調査を実施し、4,024名から回答を得た。

- 回答者の性別は、「男性」が39.2%、「女性」が60.4%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が92.8%、「私立」が7.2%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、大分大学の所在地である「大分県」が37.3%で最も多い。次いで「宮崎県」が16.3%、「長崎県」が13.0%である。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が85.1%を占め、最も多い。次いで「理系クラス(理系コース)」が9.1%と続く。

## 高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」の割合が81.2%で最も高い。次いで「私立大学に進学」が30.4%、「専門学校・専修学校に進学」が6.8%と続く。国公立大学への進学志望者が多いことから、大分大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経済学部 総合経済学科」の学びと関連する「経済学・経営学・商学(会計学、国際貿易論など含む)」が36.2%で高く、「文学(語学、心理学、哲学、歴史学など含む)」も同率の36.2%である。次いで「教員養成・教育学」が20.4%と続く。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度(※)は、8項目中6項目で8割を超える。
- 学部の特色に対する魅力度は、「A. 「サステナビリティ」(持続可能性)を軸に社会的課題に対応できる力を養い、地域・社会・生活の質を向上させる人材を養成する。」(85.1%)、「B. 分野融合により、経済学や経営学を中心とした社会科学諸分野を包括的・総合的に学ぶことができる。」(81.9%)である。
- 各コースの特色で最も魅力度が高いのは、「G. 〈生活・仕事創造コース〉人や地域を繋ぐ力と、豊かな生活を自ら創り出す力を養う。」(83.3%)である。

次に魅力度が高いのは、「F. 〈社会イノベーションコース〉社会課題や地域課題を発見し、イノベーションにつながる解決策を考え、提案し、実践できる力を養う。」(82.1%)、さらに「D. 〈IBPコース〉英語などの外国語だけでなく、国籍・文化の多様性を理解し、協調してグローバルに行動する力を養う。」(82.0%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向・入学意向

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、22.6% (4,024名中、**911名**)である。
- 大分大学「経済学部 総合経済学科」を「受験したいと思う」と答えた911名のうち、大分大学「経済学部 総合経済学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、67.6% (**616名**)である。

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」への入学意向者数

※ここからは、大分大学「経済学部 総合経済学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を大分大学「経済学部 総合経済学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は15.3% (**616名**)で、予定している入学定員数270名を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の回答者の入学意向は17.4% (1,577名中、**275名**)、「女性」の回答者の入学意向は14.0% (2,429名中、**341名**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- 大分大学の所在地である「大分県」の高校在籍者からの入学意向は21.4% (1,499名中、**321名**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

# 高校生対象 調査結果まとめ

---

## ◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向は15.8%(3,426名中、**543名**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

## ◇高校卒業後の希望進路別

- 大分大学を受験・入学する可能性が高い「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は17.3%(3,267名中、**564名**)、「四年制大学に進学」を考えている回答者の入学意向は16.0%(3,755名中、**600名**)と、いずれも予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

## ◇興味のある学問系統別

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の学びと関連する「経済学・経営学・商学(会計学、国際貿易論など含む)」に興味がある回答者の入学意向は31.1%(1,458名中、**453名**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。「経済学」「法学」「地域学」「社会学」のいずれか一つ以上の学問系統に興味がある回答者の入学意向は23.9%(2,196人中、**525人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

## ◇大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度別

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色も16%以上であり、予定している入学定員数を上回った。

# 高校生対象 調査結果まとめ

---

さらに精緻な条件下での、大分大学「経済学部 総合経済学科」への入学意向者数

※入学意向者の条件をさらに精緻に設定して、Q1で「国公立大学に進学」を選択し、かつ、Q2で「経済学」「法学」「地域学」「社会学」のうち少なくとも1つに興味があると回答した、大分大学「経済学部 総合経済学科」の入学意向者について分析する。

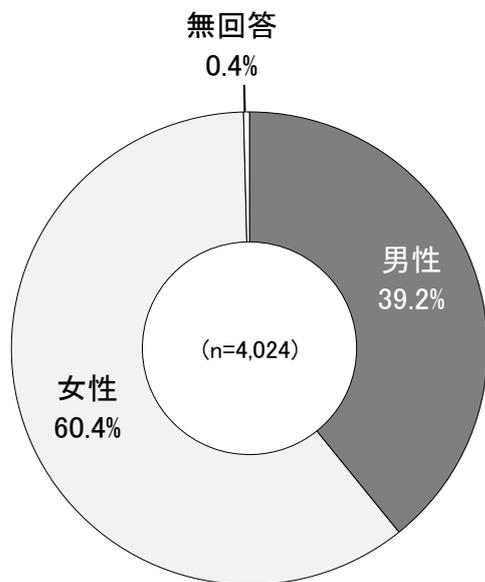
- 回答者全体における精緻な条件下での入学意向は26.3% (1,875名中、493名) で、予定している入学定員数270名を上回る入学意向者がみられた。ターゲットの条件をより精緻に限定しても、予定している入学定員数270名を超える入学意向者がみられた。

## 高校生対象 調査結果

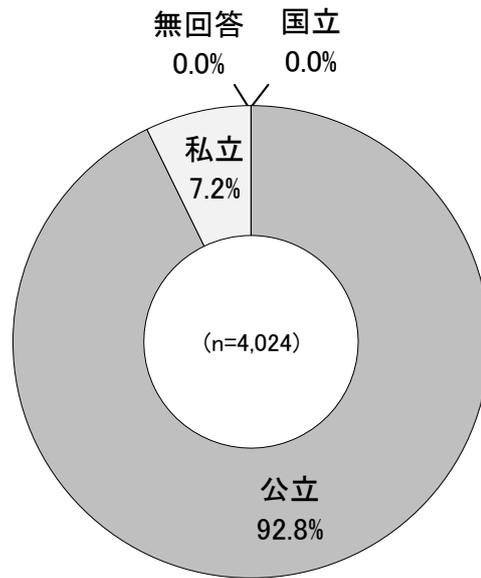


# 回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

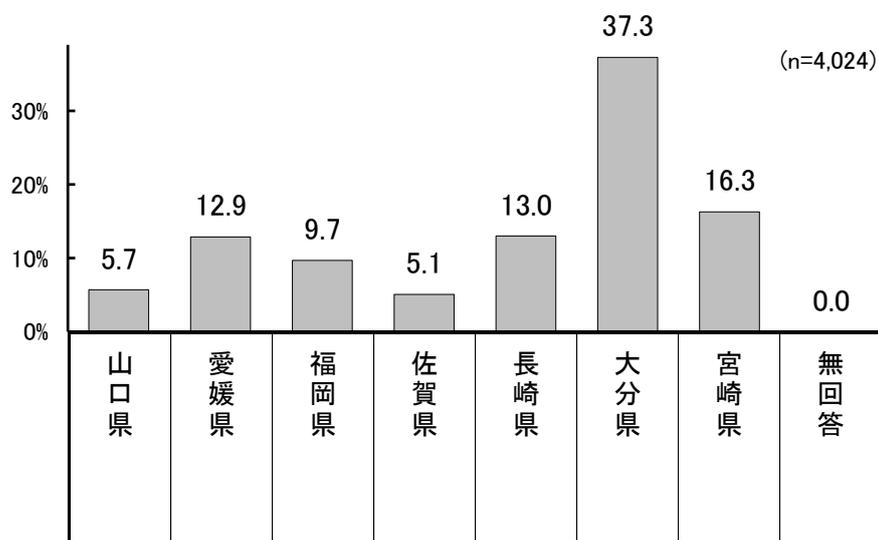
## ■性別



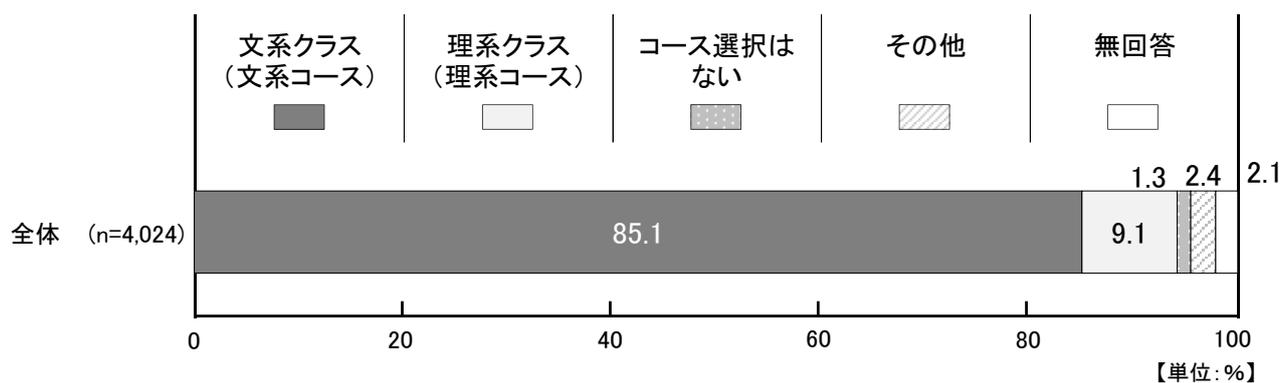
## ■高校種別



## ■高校所在地



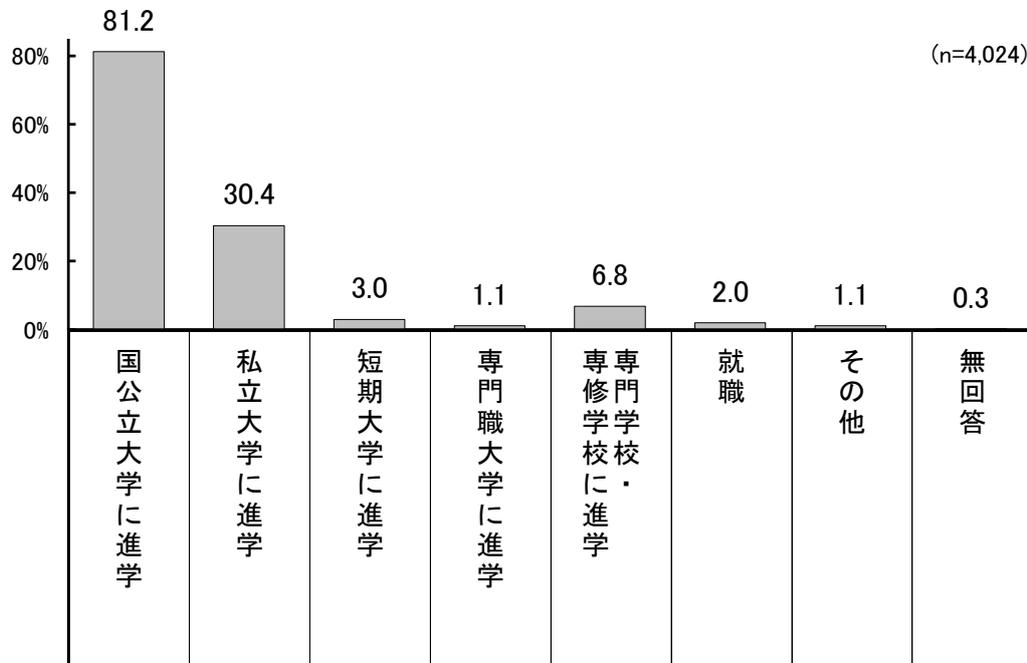
## ■所属クラス



# 高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

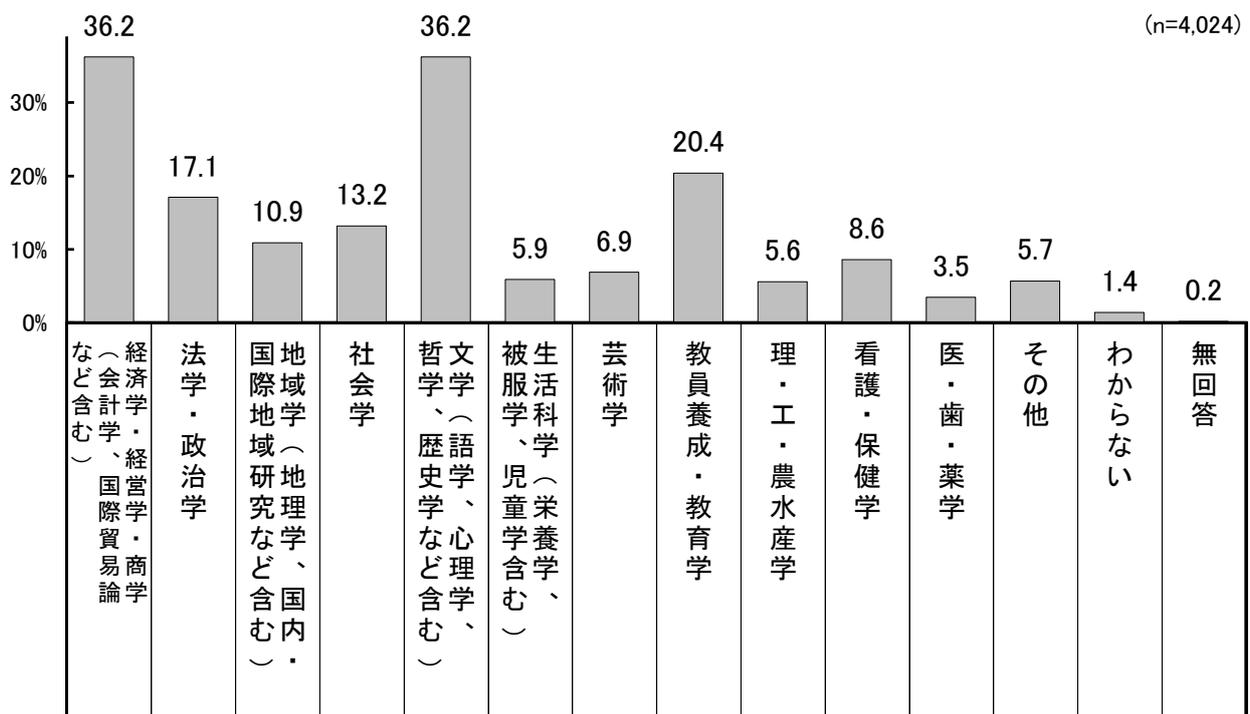
## ■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。以下の項目のうち、現在検討している(希望している)進路すべてに○をつけてください。(いくつでも)



## ■興味のある学問系統

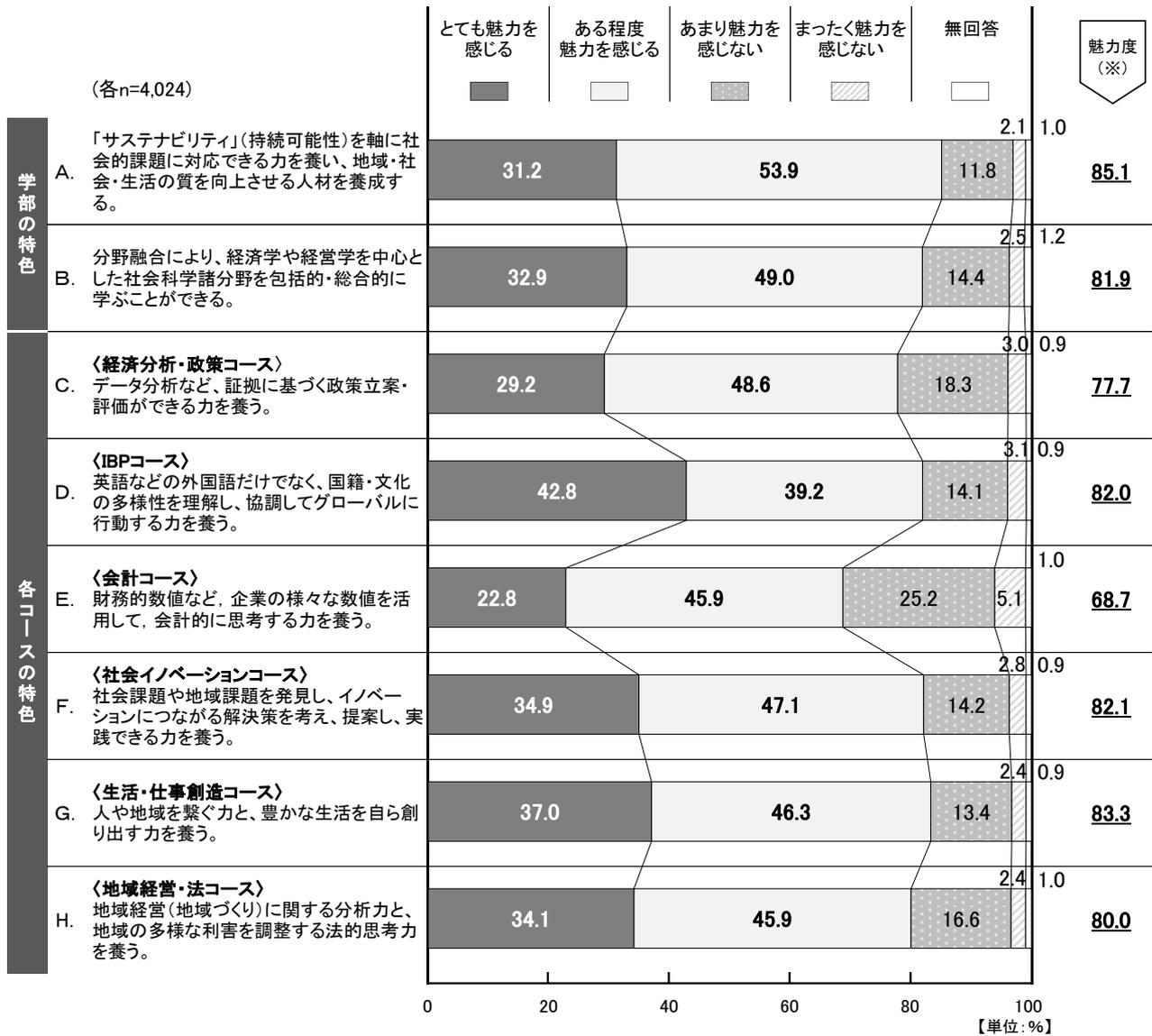
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



# 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度

## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度

Q3. 大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。  
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



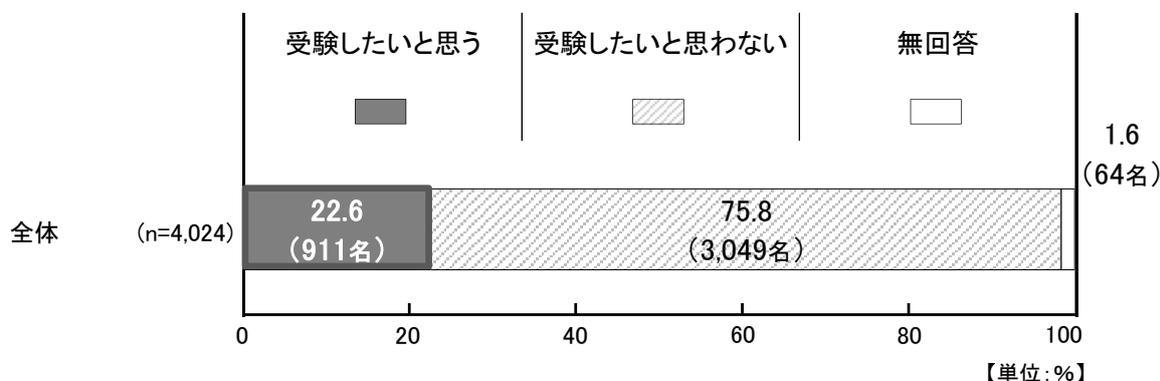
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向／ 入学意向／受験意向別入学意向

## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向

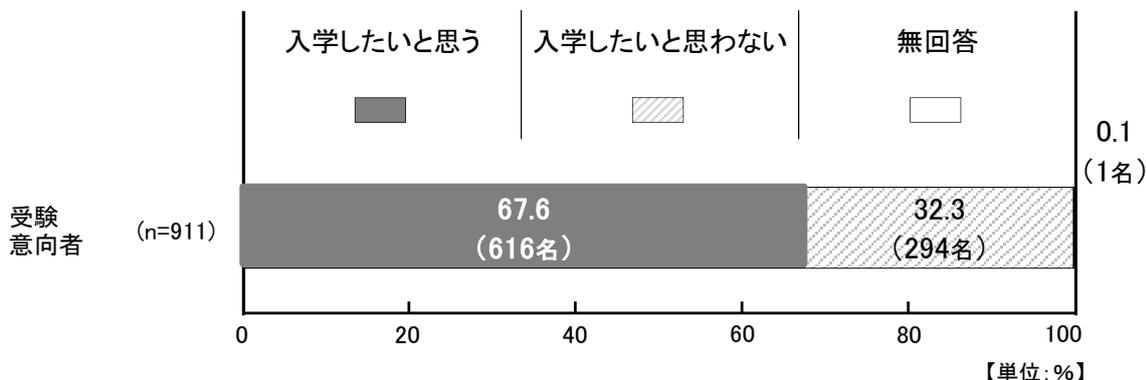
Q4. あなたは、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた911名のみ抽出

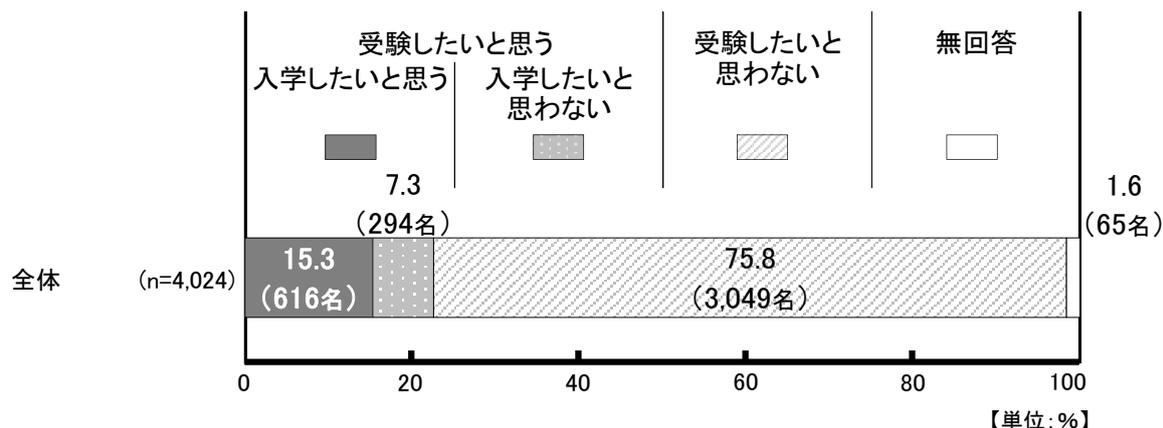
## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」への入学意向

Q5. あなたは、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、併願校よりも大分大学「経済学部 総合経済学科」に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を  
かけあわせて集計(母数は全回答者)

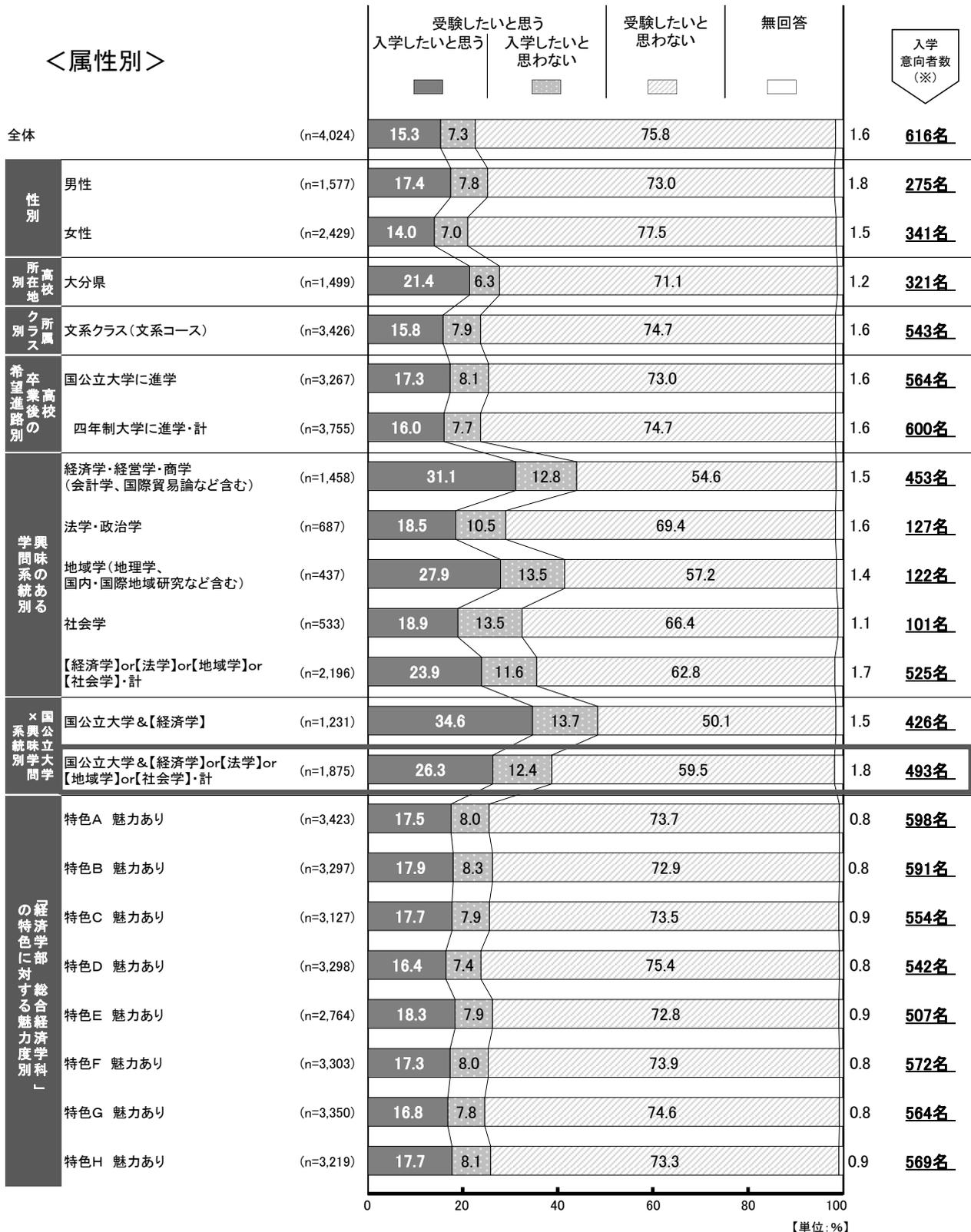
## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向別入学意向



# 大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向別 入学意向<属性別>

## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※大分大学「経済学部 総合経済学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を大分大学「経済学部 総合経済学科」の入学意向者と定義する。



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

## 卷末資料 調查票





# 調査票

## ◆大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)についてお聞きします。

大分大学では、現在高校3年生のみなさんが大学生となる2024年(令和6年)4月に、既存の4学科を1学科に改編し、新たに「経済学部 総合経済学科」(仮称)を設置することを構想しています。  
また入学後、以下の6つのコースに分かれて学ぶことを検討しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

**Q3** 大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
学部の特色	A. 「サステナビリティ」(持続可能性)を軸に社会的課題に対応できる力を養い、地域・社会・生活の質を向上させる人材を養成する。	→ ①	②	③	④
	B. 分野融合により、経済学や経営学を中心とした社会科学諸分野を包括的・総合的に学ぶことができる。	→ ①	②	③	④
各コースの特色	C. 〈経済分析・政策コース〉 データ分析など、証拠に基づく政策立案・評価ができる力を養う。	→ ①	②	③	④
	D. 〈IBPコース〉 英語などの外国語だけでなく、国籍・文化の多様性を理解し、協調してグローバルに行動する力を養う。	→ ①	②	③	④
	E. 〈会計コース〉 財務的数値など、企業の様々な数値を活用して、会計的に思考する力を養う。	→ ①	②	③	④
	F. 〈社会イノベーションコース〉 社会課題や地域課題を発見し、イノベーションにつながる解決策を考え、提案し、実践できる力を養う。	→ ①	②	③	④
	G. 〈生活・仕事創造コース〉 人や地域を繋ぐ力と、豊かな生活を自ら創り出す力を養う。	→ ①	②	③	④
	H. 〈地域経営・法コース〉 地域経営(地域づくり)に関する分析力と、地域の多様な利害を調整する法的思考力を養う。	→ ①	②	③	④

**Q4** あなたは、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 受験したいと思う                      ② 受験したいと思わない

**Q5** あなたは、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、併願校よりも大分大学「経済学部 総合経済学科」に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※回答した内容が、本学への受験や入学に影響することはありません。

- ① 入学したいと思う                      ② 入学したいと思わない

\*\*\* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*

## Career data

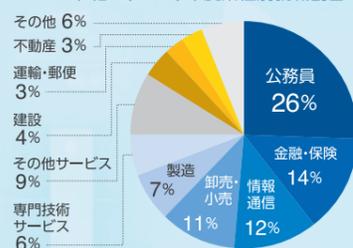
伝統がバックアップ。就職支援も充実

- ◆ 創立100周年を迎えた経済学部の2万人を超える卒業生が、各界で活躍しています。
- ◆ 卒業生の寄附による独自の奨学金や就職支援室による就職サポートといった学生支援体制も整っています。

就職率

98.5%

令和3(2021)年度業種別就職割合



入学定員

経済学部

総合経済学科(仮称)  
270名

設置キャンパス

巨野原キャンパス



学費(予定)

初年度納入金

817,800円<sup>※1</sup>

2年次以降

535,800円

類似する大学・学部

新潟大学 経済科学部

817,800円<sup>※2</sup>  
(初年度納付金、入学金+授業料)

滋賀大学 経済学部

817,800円<sup>※2</sup>  
(初年度納付金、入学金+授業料)

※1 初年度はほかに、損害保険料や諸会費が別途必要になります。 ※2 上記以外に、保険料等の諸経費が必要となります。  
(令和4(2022)年度入学生、各大学HPで調査)

## アクセスマップ



巨野原キャンパス

巨野原キャンパス



国立大学法人

大分大学

経済学部は令和6(2024)年4月から変わります。

## 総合経済学科(仮称)1学科6コースへ

「サステナビリティ」を軸に、社会科学諸分野を横断する包括的・総合的な教育を展開します。

4学科 現行:(令和5(2023)年度)270名

1学科6コース (令和6(2024)年度)270名

経済学科

経営システム学科

地域システム学科

社会イノベーション学科



国立大学法人  
大分大学

https://www.oita-u.ac.jp https://www.ec.oita-u.ac.jp/

- 経済学部
- 教育学部
- 理工学部
- 福祉健康科学部
- 医学部

総合経済学科<sup>※</sup>  
学校教育教員養成課程 ●初等中等教育コース ●特別支援教育コース  
理工学科  
福祉健康科学科 ●理学療法コース ●社会福祉実践コース ●心理学コース  
医学科、看護学科、先進医療科学科 ●生命健康科学コース ●臨床医工学コース  
※令和6(2024)年4月開設予定(仮称・設置構想中)

巨野原キャンパス 〒870-1192 大分市大字巨野原 700 番地

挟間キャンパス 〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地

お問い合わせ 大分大学経済学部総務係 TEL: 097-554-7651

—学生確保(資料)—27—

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

# FACULTY OF ECONOMICS, OITA UNIVERSITY

# サステナビリティを軸とした分野横断的な「学び」へ 大分大学 経済学部 総合経済学科 (仮称)

令和6(2024)年4月開設予定(設置構想中)

## 経済社会のサステナビリティに 対応する多彩な6コース

希望進路や興味に応じた「学び」の場があります

# sustainability

### 各コースの特色と想定する進路

#### 設置の理念 | 新しい時代を見据えた「学び」の進化

国連 SDGs (Sustainable Development Goals) は、2030 年をゴールにした「サステナビリティ」(持続可能性) 社会をめざしています。一方で、この社会・企業・地域の持続的発展をめざす取り組みは 2030 年以降も続きます。

大分大学経済学部では、SDGs に対応しつつ、その先にある社会的課題にも対応できる力を育てるため、「サステナビリティ」を軸とし、地域・社会・生活の質を向上させる教育体制へシフトさせていきます。そのために、これまでの4学科体制から、経済・経営・地域研究の分野を融合した「総合経済学科」1学科とし、サステナビリティに対応する多彩な6コースを新たに設けます。

コースでは、社会の実態(リアル)を知り、課題探究型授業で自らの将来をデザインし、見つけた課題を専門的な知見を使って分析しつつ、最後に「学び」を集大成させていきます。こうした分野融合による多彩なコースを通じ、複雑・多様な社会課題に果敢に挑戦できる資質・能力を育てていきます。

#### 養成する人材像 | 総合的な基礎力を備え、社会の中核を支える人材

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野を広く、かつ基礎から応用・実践に至るまで体系的に学修することを通じて、サステナブルな経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材の養成をめざしています。

#### 教育の特徴 | 自分の可能性を高める「学び」のしくみ



学びたいことを見つける

#自分の将来をデザインする

同じ関心を持つ学生と話し合いながら、詳しく調べ、学びたいことを見つけます。自分の将来を考えるきっかけにもなります。



現場を知る・現場を感じる

#知的好奇心の扉が開く

いま、何が求められているのか?現場(フィールド)調査や最新のデータから社会の実態(リアル)に向き合います。



専門的な分析手法を身に付ける  
#知的好奇心が加速する

見つけた課題や学びたいことを専門的に分析する手法を身に付けます。自分の専門性や強みを伸ばします。



「学び」を集大成する  
#社会に貢献できる能力を備える

4年間学んだ研究成果をまとめます。ビジネスのタネになることや社会問題の解決につながることもあります。



#### 経済分析・政策コース



サステナビリティの観点から市場経済のしくみを検討し、政府、企業等で適切なデータ、根拠に基づき政策形成・評価ができる力を養います。

Keyword #EBPM #政策評価 #経済的思考

想定する進路 ●各種公務員・金融機関(日本銀行・政府系金融機関・都市銀行・地方銀行)など、データに基づき政策形成・評価に関わる業務

#### IBP コース

(International Business Perspectives)



英語などの外国語運用能力だけでなく、国籍・文化の多様性を理解し、協調してグローバルに行動する力を養います。留学する際には、給付型の奨学金で支援します。

Keyword #異文化理解 #国際交流 #グローバル人材

想定する進路 ●商社・メーカー・物流など、国内外の取引関連業務  
●公務員・観光業など、訪日外国人対応業務

#### 会計コース



企業の財務的数値と非財務的数値(ESG 関連指標)を活用し、企業内部・外部の利害関係者(ステークホルダー)の視点から、会計的に思考する力を養います。

Keyword #簿記 #会計 #ファイナンス #経営分析

想定する進路 ●企業の経理・財務部門など、会計的思考が必要な業務  
●金融機関・企業の投資部門など、財務的数値・非財務的数値の分析や、開示情報の作成が求められる業務

#### 社会イノベーションコース



現代社会に存在するさまざまな社会課題や地域課題を発見し、それらに対して主に経営学の観点からのアプローチで新たな価値の創造(イノベーション)につながる解決策を考え、提案し、実践できる力を養います。

Keyword #イノベーション #経営学 #課題発見 #課題探究 #フィールドワーク

想定する進路 ●企業の新製品開発・新サービス開発など、企画力が必要な業務  
●各種公務員など、行政が直面している問題点の解決策を創り、実践力が求められる業務

#### 生活・仕事創造コース



人口減少社会の課題を経済学・経営学・社会学・法律学・社会福祉学の学際的な視点で考え、人や地域をつなぐ力と、豊かな生活と仕事を自ら創り出す力を養います。

Keyword #子ども食堂 #被災地との交流 #食と農 #協働 #多様な働き方 #8050問題

想定する進路 ●地方公務員・地域のNPO・NGOなど、地域社会の課題発見力・企画力・行動力が必要な業務  
●地域社会の「つながり」を推進する業務

#### 地域経営・法コース



地域が抱える諸課題の解決に必要な地域経営(地域づくり)に関する知識・分析力と、地域の多様な利害を調整する法的思考力を養います。

Keyword #地方創生 #まちづくり #リーガルマインド #マイノリティ #地域分析

想定する進路 ●地方公務員や国家公務員(地域職)など、地域の課題に対応する業務  
●商工会議所・観光協会・観光業など、地域の魅力を磨き、発信する業務  
●地方銀行・地域金融機関など、地域経済を支える企業における業務

出身高校所在地別志願者数

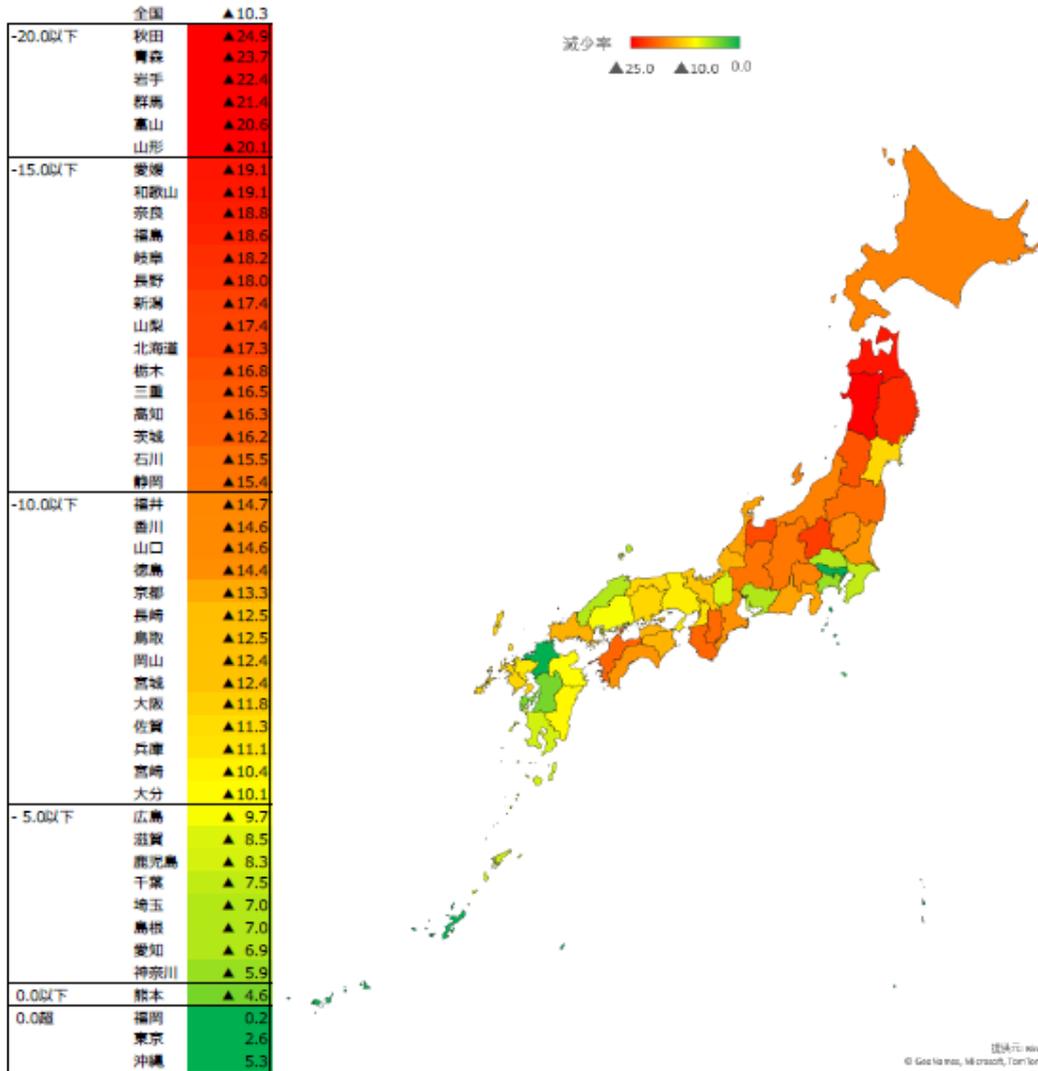
年度		R05	R04	R03	R02	H31
九州	大分	347	354	470	395	370
	福岡	119	122	127	106	144
	佐賀	20	28	27	36	27
	長崎	44	43	55	52	57
	熊本	25	36	42	37	39
	宮崎	51	70	81	61	67
	鹿児島	29	16	33	34	21
	沖縄	7	6	9	2	3
	小計	642	675	844	723	728
四国	高知	6	4		2	1
	愛媛	50	54	61	41	55
	香川	13	16	13	12	19
	徳島	7	5	6	6	7
	小計	76	79	80	61	82
中国	山口	35	43	45	42	55
	広島	28	22	28	28	26
	岡山	16	27	22	15	28
	島根	6	10	13	9	8
	鳥取	3	6	2	4	5
	小計	88	108	110	98	122
近畿	和歌山	1	2	2	5	3
	奈良	1	0	1	0	1
	兵庫	25	17	31	16	14
	大阪	6	5	13	5	3
	京都	1	2	4	0	4
	滋賀	0	3	4	1	6
	小計	34	29	55	27	31
中部	三重	4	4	7	3	7
	愛知	11	10	18	14	12
	静岡	7	7	12	0	2
	岐阜	7	3	2	4	5
	長野	4	2	2	3	2
	山梨	1	1	1	1	1
	小計	34	27	42	25	29
北陸	福井	0	0		2	1
	石川	6	2	4	0	1
	富山	0	1	1	0	1
	新潟	4	3	1	0	1
	小計	10	6	6	2	4
関東	神奈川	2	3	2	0	1
	東京	4	4	7	6	5
	千葉	2	1	4	0	1
	埼玉	1	1	1	0	0
	群馬	0	0		1	1
	栃木	2	0	4	0	0
	茨城	3	1	3	3	3
	小計	14	10	21	10	11
東北・北海道	福島	2	2	1	0	0
	山形	1	1		0	1
	秋田	0	0	1	0	0
	宮城	0	0	1	0	0
	岩手	0	0		2	0
	青森	0	0		0	0
北海道	4	8	4	5	3	
	小計	7	11	7	7	4
その他		8	7	5	22	11
合計		913	952	1170	975	1022

都道府県別人口減少率 リクルート進学総研マーケットリポート 2022

## 18歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034年）

- 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上  
沖縄・東京・福岡の3県のみ増加する見込み

## ■ 都道府県別 18歳人口減少率（2022年～2034年）



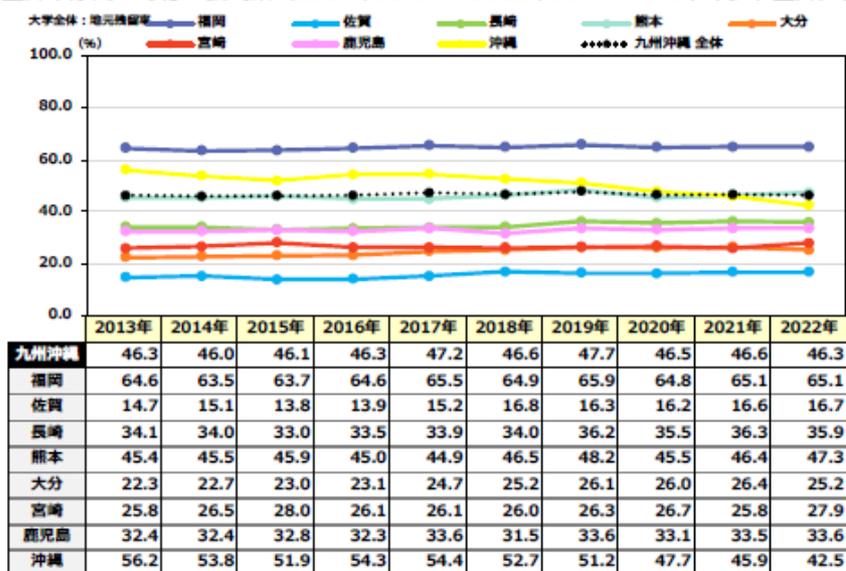
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移 リクルート進学総研マーケットレポート 2022

## 地元残留率の推移（全体：九州沖縄：2013～2022年）

- 大学は、2013年46.3%→2022年46.3%（変動なし）
- 短期大学は、2013年74.9%→2022年76.6%（1.7ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、大分県（2013年22.3%→2022年25.2%、2.9ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、長崎県（2013年51.6%→2022年60.4%、8.8ポイント上昇）。



---

---

大分大学  
「経済学部 総合経済学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】

---

---

令和5年7月  
株式会社 進研アド

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2024年4月開設予定の大分大学「経済学部 総合経済学科」新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,849企業
	回収数(回収率)	361企業(19.5%)
調査時期		2023年5月15日(月)～2023年5月31日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・業態</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・採用したい学問分野</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」の社会的必要性</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



# 企業対象 調査結果まとめ

## 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称)に対する人材需要を確認するための調査として設計。大分大学「経済学部 総合経済学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、361企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決定権があり、選考にかかわっている」人は15.5%、「採用の決定権はないが、選考にかかわっている」人が67.3%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、大分大学の所在地である「大分県」が24.7%で最も多い。次いで「福岡県」が19.7%、「東京都」が18.8%である。
- 回答企業の業態としては「卸売業、小売業」が19.1%で最も多い。次いで「製造業」が13.3%、「情報通信業」が11.6%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が34.3%で最も多い。次いで「1,000名～5,000名未満」が23.8%、「500名～1,000名未満」が14.7%である。

## 回答企業の採用状況(過去3か年)／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「10名～20名未満」が26.0%で最も多い。次いで「1名～5名未満」が22.2%、「100名以上」が11.4%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「経済学部 総合経済学科」の学びに関連のある「経済学・経営学・商学(会計学、国際貿易論など含む)」が78.9%で最も高い。次いで「理・工・農水産学」が71.5%、「法学・政治学」が57.6%である。

# 企業対象 調査結果まとめ

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度(※)は、8項目中7項目で9割を超える。
- 学部の特色に対する魅力度は、「A. 「サステナビリティ」(持続可能性)を軸に社会的課題に対応できる力を養い、地域・社会・生活の質を向上させる人材を養成する。」「B. 分野融合により、経済学や経営学を中心とした社会科学諸分野を包括的・総合的に学ぶことができる。」が、いずれも93.1%である。
- 各コースの特色で最も魅力度が高いのは、「F. 〈社会イノベーションコース〉社会課題や地域課題を発見し、イノベーションにつながる解決策を考え、提案し、実践できる力を養う。」(97.0%)である。

次に魅力度が高いのは、「C. 〈経済分析・政策コース〉データ分析など、証拠に基づく政策立案・評価ができる力を養う。」(96.4%)、さらに「E. 〈会計コース〉企業の財務的数値と非財務的数値を活用し、会計的に思考する力を養う。」(95.0%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

# 企業対象 調査結果まとめ

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」の社会的必要性

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の社会的必要性については、97.0% (361企業中、**350企業**) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生に対する採用意向・ 毎年の採用想定人数

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、93.4% (361企業中、**337企業**) である。
- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた337企業へ大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**604名**で、予定している入学定員数270名を2倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

### < 属性別 >

#### ◇ 本社所在地別

- 「九州」エリアに本社がある企業からの採用意向は、95.1% (203企業中、**193企業**)。採用想定人数の合計は**347名**で、予定している入学定員数を上回っている。大分大学の所在地である「大分県」に本社がある企業からの採用意向は、93.3% (89企業中、**83企業**)。採用想定人数の合計は**167名**で、一定の採用意向がみられる。

#### ◇ 従業員数別

- 従業員数にかかわらず、一定の採用意向がみられる。

# 企業対象 調査結果まとめ

---

## ◇採用したい学問分野別

- 「経済学部 総合経済学科」の学びに関連のある「経済学・経営学・商学(会計学、国際貿易論など含む)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は97.5%(285企業中、**278企業**)で、採用想定人数の合計は**522名**。「法学・政治学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は97.6%(208企業中、**203企業**)で、採用想定人数の合計は**401名**。「地域学(地理学、国内・国際地域研究など含む)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は98.3%(177企業中、**174企業**)で、採用想定人数の合計は**350名**。「社会学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は97.5%(197企業中、**192企業**)で、採用想定人数の合計は**387名**と、上記のいずれも予定している入学定員数を上回っている。

## ◇大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度別

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、すべての特色で9割を超えている。採用想定人数も500名以上と、予定している入学定員数を上回っている。

## ◇社会的必要性別

- 大分大学「経済学部 総合経済学科」が社会的に「必要だと思う」と回答した企業からの採用意向は95.4%(350企業中、**334企業**)。採用想定人数の合計は**599名**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

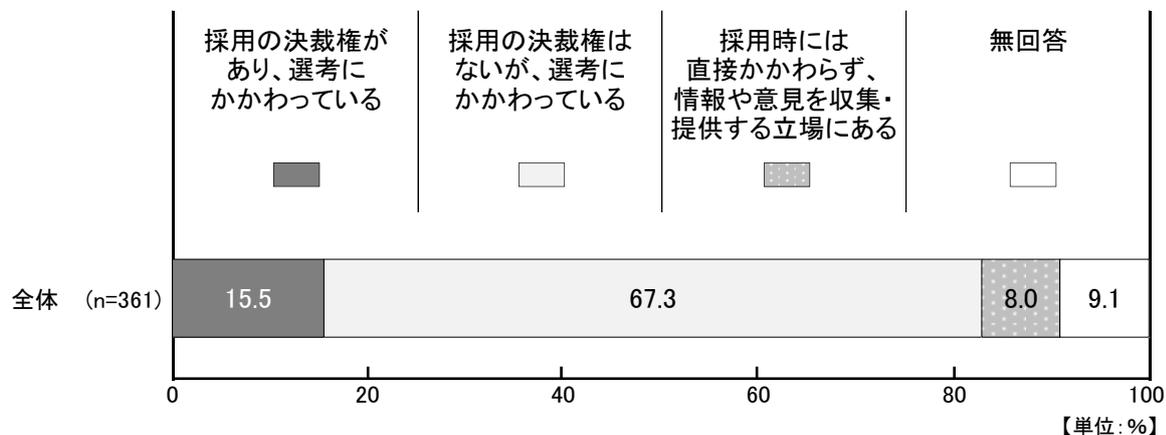
## 企業対象 調査結果



# 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

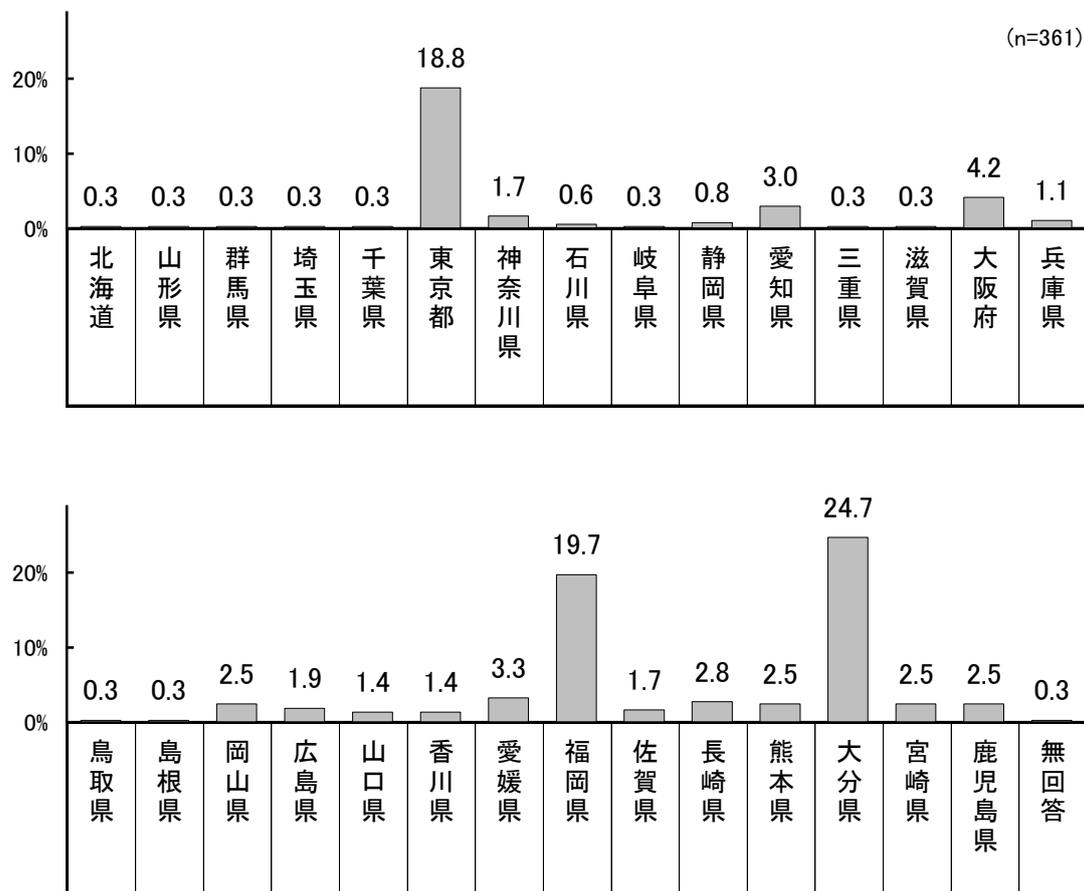
## ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本社所在地

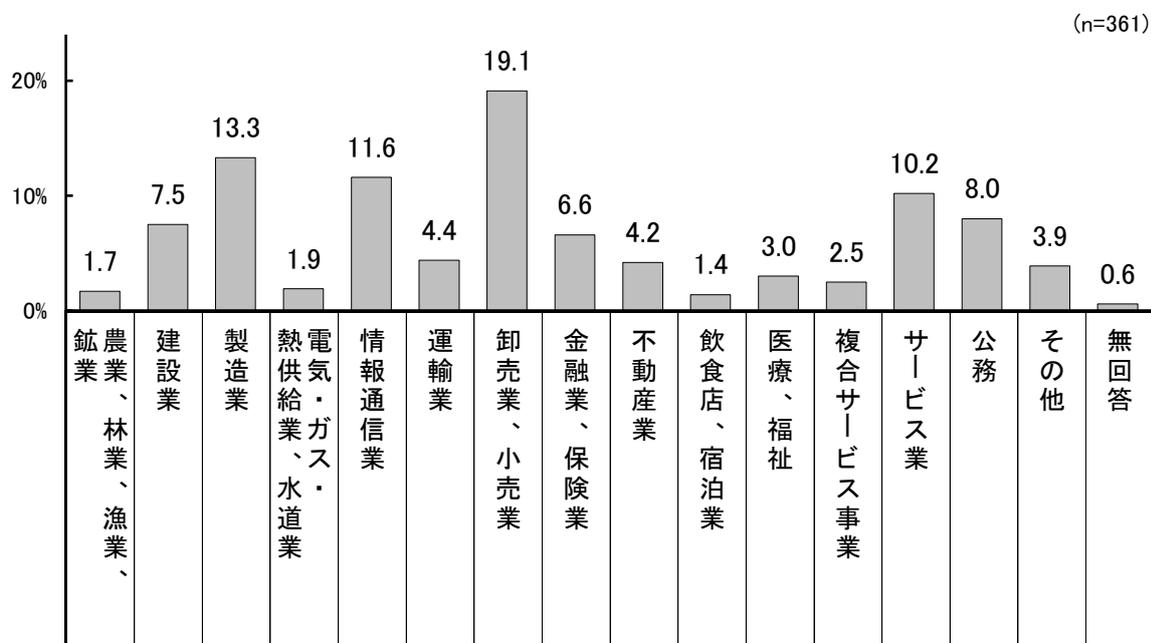
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



# 回答企業(回答者)の属性(業態/従業員数)

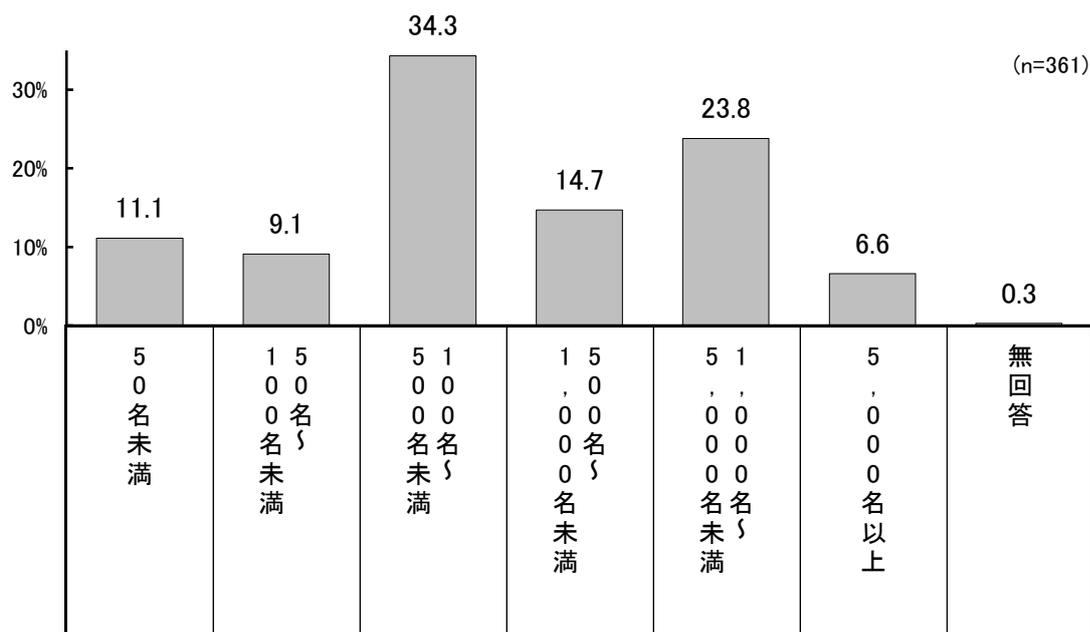
## ■業態

Q3. 貴社・貴団体の業態について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



## ■従業員数

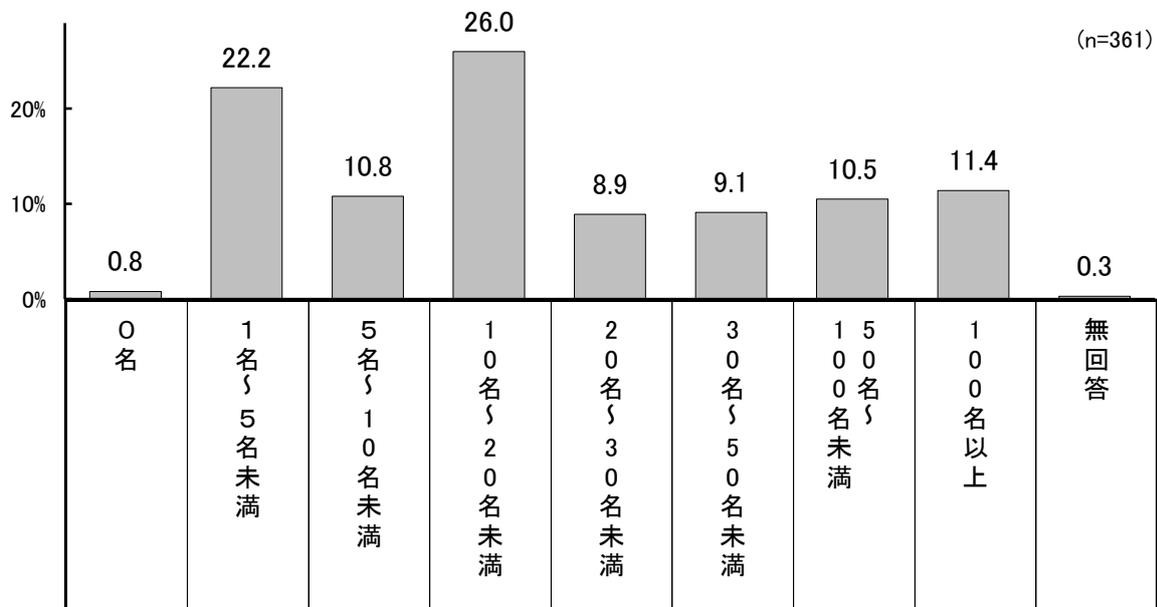
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数／採用したい学問分野

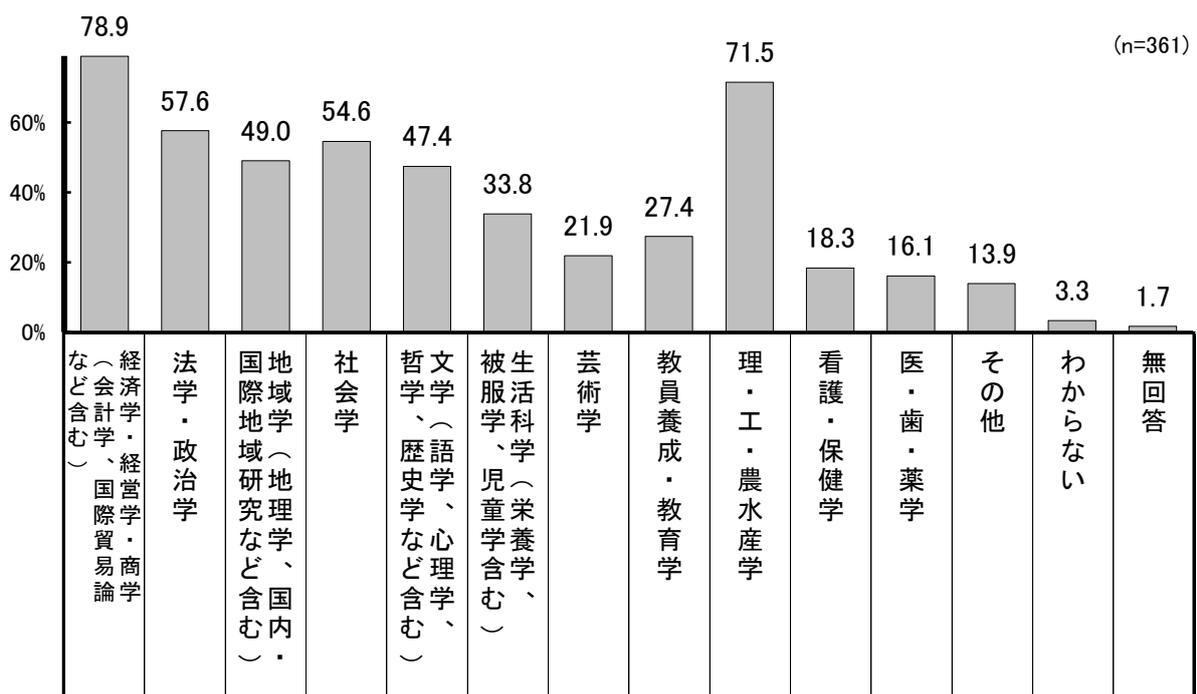
## ■ 正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■ 採用したい学問分野

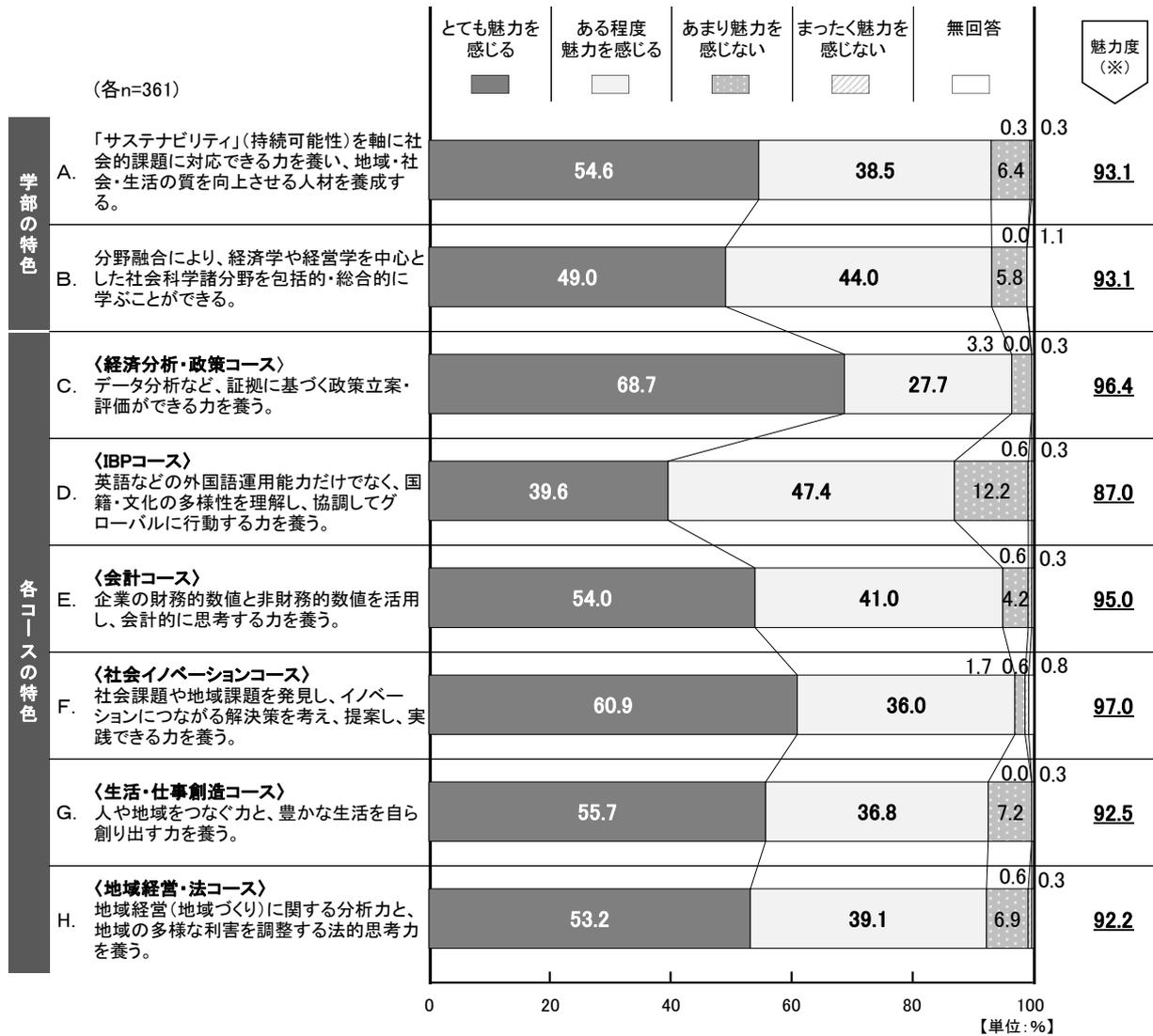
Q6. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)



# 大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度

## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」の特色に対する魅力度

Q7. 大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



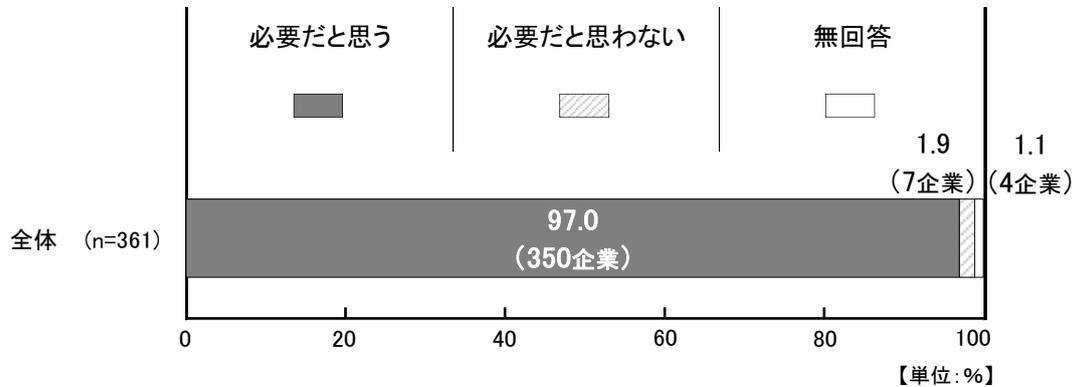
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 大分大学「経済学部 総合経済学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

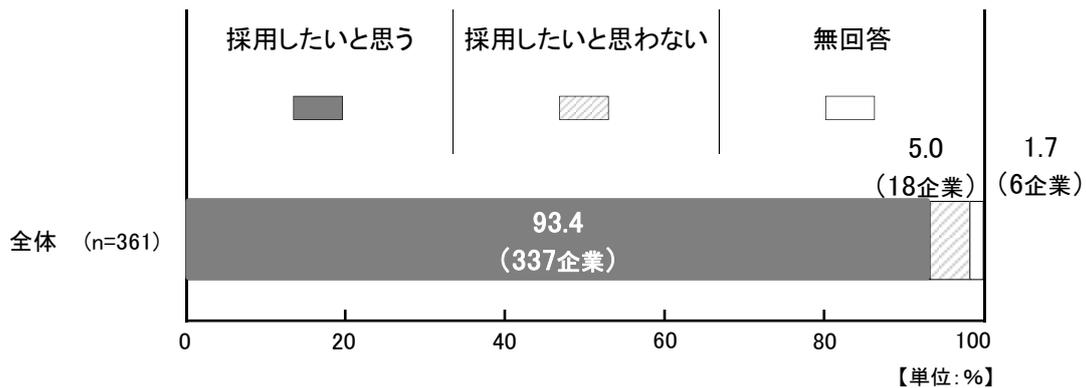
## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」の社会的必要性

Q8. 貴社・貴団体(ご回答者)は、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生に対する採用意向

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)では、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた337企業のみ抽出

## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、大分大学「経済学部 総合経済学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※ びら の採 用 想 定 人 数 ・ 計 人 数 を )	
		全体	337	% 51.0%	16.3%	17.5%	0.0%		5.0%
		企業数	172	55	59	0	17	6	
		名	172	110	177	0	85	60	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

# 大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数<属性別>

## ■大分大学「経済学部 総合経済学科」卒業生に対する採用意向／ 採用想定人数<属性別>

※大分大学「経済学部 総合経済学科」に対して、Q9で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q10で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。

		採用意向 (%)	採用意向 企業数 ・合計	採用 想定人数 ・合計
全体 (n=361)		93.4	337企業	604名
所在地別	九州 (n=203)	95.1	193企業	347名
	大分県 (n=89)	93.3	83企業	167名
従業員数別	50名未満 (n=40)	90.0	36企業	37名
	50名～100名未満 (n=33)	100.0	33企業	48名
	100名～500名未満 (n=124)	94.4	117企業	220名
	500名～1,000名未満 (n=53)	96.2	51企業	86名
	1,000名～5,000名未満 (n=86)	90.7	78企業	176名
	5,000名以上 (n=24)	87.5	21企業	34名
採用したい学問分野別	経済学・経営学・商学 (会計学、国際貿易論など含む) (n=285)	97.5	278企業	522名
	法学・政治学 (n=208)	97.6	203企業	401名
	地域学(地理学、 国内・国際地域研究など含む) (n=177)	98.3	174企業	350名
	社会学 (n=197)	97.5	192企業	387名
「経済学部 に対する魅力度別」	特色A 魅力あり (n=336)	94.3	317企業	572名
	特色B 魅力あり (n=336)	94.9	319企業	585名
	特色C 魅力あり (n=348)	94.8	330企業	588名
	特色D 魅力あり (n=314)	94.6	297企業	529名
	特色E 魅力あり (n=343)	94.8	325企業	582名
	特色F 魅力あり (n=350)	94.6	331企業	595名
	特色G 魅力あり (n=334)	95.2	318企業	581名
	特色H 魅力あり (n=333)	95.2	317企業	571名
社会的 必要性	必要だと思う (n=350)	95.4	334企業	599名

※採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 卷末資料 調查票



# 調査票

## 大分大学「経済学部 総合経済学科」 (仮称、設置構想中)に関するアンケート

大分大学経済学部では2024年(令和6年)4月に、既存の4学科を1学科に改編し、新たに「経済学部 総合経済学科」(仮称)を設置することを構想しています。  
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することはありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料に記載されている事項は、すべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

### はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業態について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |                   |             |              |
|-------------------|-------------|--------------|
| 1. 農業、林業、漁業、鉱業    | 6. 運輸業      | 11. 医療、福祉    |
| 2. 建設業            | 7. 卸売業、小売業  | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業            | 8. 金融業、保険業  | 13. サービス業    |
| 4. 電気・ガス・熱供給業、水道業 | 9. 不動産業     | 14. 公務       |
| 5. 情報通信業          | 10. 飲食店、宿泊業 | 15. その他      |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名       | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満  | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上     |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 |               |

Q6. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- |                                  |                              |             |
|----------------------------------|------------------------------|-------------|
| 1. 経済学・経営学・商学<br>(会計学、国際貿易論など含む) | 5. 文学<br>(語学、心理学、哲学、歴史学など含む) | 9. 理・工・農水産学 |
| 2. 法学・政治学                        | 6. 生活科学<br>(栄養学、被服学、児童学含む)   | 10. 看護・保健学  |
| 3. 地域学<br>(地理学、国内・国際地域研究など含む)    | 7. 芸術学                       | 11. 医・歯・薬学  |
| 4. 社会学                           | 8. 教員養成・教育学                  | 12. その他     |
|                                  |                              | 13. わからない   |



## 第40回 ワークス大卒求人倍率調査(2024年卒)

■ 図表1 求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移

